

## 新半田病院への交通アクセス調査特別委員会会議録

平成30年 7月13日(金)

午後 3時30分 開 会

○中川健一委員長

ただ今から、新半田病院への交通アクセス調査特別委員会を開会します。議事を始める前に、本日は、傍聴を希望する方が見えますので、許可したいと思います。よろしいでしょうか。

【「異議なし」との声あり】

ありがとうございます。それでは、しばらく休憩します。

午後 3時37分 休 憩

午後 3時38分 再 開

○中川健一委員長

委員会を再開します。議事を行います。協議題1 調査事項についてを行います。まず始めに、当、委員会の設置目的は、「新半田病院への交通アクセスについて」であります。それでは本日、各委員に配布させていただきました資料に基づき、当局からの補足説明をお願いします。

○村瀬浩之土木課長

【資料に基づき説明】

○中川健一委員長

説明は終わりました。何かご質疑ありませんか。

○山本半治委員

その他の視点のところ、①南部市場から半田運動公園へ向かう市道の拡幅は、住吉町の前の道からまっすぐ道路のことですね。今、片側一車線だから、2車線にしたいということですか。

○村瀬浩之土木課長

出口町の交差点から南部市場に向かって行く市道がありますが、途中途中の交差点には右折レーンがしっかりないところもありますのでその右折レーンの整備や、南部市場を右に曲がる場所から運動公園までが一車線しかないの、その道路の拡幅は必要と考えています。

○中川健一委員長

その他にありませんでしょうか。

○新美保博委員

その他の視点のところ、まず、⑦の矢高横川線は、阿久比のひなたの丘のあたりであの裏側が半田市と阿久比町の境になっている。そうすると、環状線ができていないのは、半田地はできているが、阿久比地はできていない。逆に、矢高横川線は、ひなたの丘ができたことにより、道路はできたが、半田地の道路ができていない。大矢知のファミリーマートの大きな交差点から西に抜ける道を整備しなければならない。そのことは、計画としてあるのか。どの程度の計画を持っているのか。

○村瀬浩之土木課長

都市計画道路矢高横川線と言いまして、阿久比地は民間の開発が進み道路ができました。そこから、その先線の阿久比地の未整備区間と半田の未整備区間があります。そこについては、阿久比地では、耕地整理を進めていて、来年度事業認可をとる予定と聞いています。この区間は、県が事業主体となると確認していますので、耕地整理を行い、道路用地を編み出し、そこに県が道路整備することになりますので、併せて半田地も一緒に整備してくださいとお願いしているところであります。

○新美保博委員

耕地整理と区画整理では、たしか道路幅が違うと思う。耕地整理と区画整理の違いについて。仮に、耕地整理をしていくにしても、その地権者がいる。十何年前に同じようにやって、70%の地権者がOKもらったのに、潰れた経過がある。単純に道路だけ作ればいいとはならないはず。耕地整理・区画整理という事業計画の中で、道路を見ていくとなると、上手くいくのか。半田市の北東部、乙川亀崎地区から言うと、環状線を抜いて名鉄に遮断されない道路で運動公園に行きたいとなると、どうしても矢高横川線を使わざるを得ないと思う。それを使い、宮津を抜けて、阿久比の堤防に行き、アピタの北のアンダーへ抜けていくというルートを頭の中に入れておかなければならない。それでないと道がない。西尾知多線まで行って、そこから戻ることになると時間がかかる。この委員会が目的とするのは、病院が運動公園にできる前提で、交通アクセスをどうするかという問題だから、例えば成岩など半田市全体のことを当然考えなければならないが、少なからず、青山方面が名鉄高架されているからまだいい。名鉄高架されていない半田地区も問題かもしれないが、距離的に考えてやはり乙川亀崎地区の住民を考えなければならない。そうするならば、何らかの糸口として一本救急車両が通れる道として確保しなければならないとなると、矢高横川線は考えなければならないと思う。

○村瀬浩之土木課長

半田地は道路整備ということで、現在のところその部分の耕地整理、区画整理の検討はされていません。ただ、今後道路整備にあたって必要が出てれば、当然考えなければならないでしょうし、協議をしなければならないと思います。

○新美保博委員

今は、環状線が阿久比川の堤防で滞っている。阿久比地に環状線がない。岩滑の矢勝川のところに環状線が通じてないからこれを何とかしなければというのが第一義としてある。踏切によって、救急車両を止めずに通過できる病院までの道のりを確保したいとなればそこを考えなければならない。第二として、半田口を上げるよりも、松堀町から1本で抜けられる247号線を本格的に考えなくてはならない。そのあたりの見解はどうですか。県はどのように考えているのか。

○村瀬浩之土木課長

ここにも記載させていただきました名鉄の高架化というところですが、今、半田市ではJRの高架化を平成39年度までの予定で進めています。県は、その後のことは認識されていないことではありますが、半田市としては名鉄も渋滞が発生している現状もありますので、名鉄の高架化の整理も進めてもらえるよう要望していかなければならないと思っています。

○新美保博委員

国道 247 号線も環状線も県が整備するからといって、県に要望するだけでは弱いのではないだろうか。半田市のことだから、こうしてほしいというものを具体的に示さないといけないと思うし、そのための委員会だと思っている。認識が違うだろうか。

○榊原康仁建設部長

まさに、そのとおりであります。特別委員会を立ち上げていただきましたので、環状線や矢高横川線、将来の国道 247 が渋滞しないよう名鉄の高架化等について、委員の皆さまと私たちが知恵を出し合って頑張って作り上げていきたいと思っております。

○新美保博委員

環状線の整備、国道 247 号線の整備以外にまだ方法はあるのかどうかは 1 つ。私は高架がいいか、アンダーがいいかの議論の余地はないと思っている。例えば、平面で交差するとなると踏切を作るとなると、それは可能なのかという話もある。お金があつて潤沢に使えるわけではないのだから、この方法しかないという選択肢が狭まっているのではないかと。予算や工期を考えると、方法は限られたものだろう。優先的にすべきことで決めなければならないし、それを決めた後、病院開院の 7 年後に間に合うのか。部長から回答がほしい。環状線、247 号線はどうするか、答えられたら答えてほしい。

○榊原康仁建設部長

非常に難しいですが、まず、他の手段はあるのかという話で、本日の資料で提案させていただいた 9 つのことくらいかと思っています。高架かアンダーかについては、アンダーの方法はあると思いますが、稲沢市では集中豪雨で車が止まってしまったり、人がなくなってしまふケースもあります。道路の安全面を考えるとアンダーは難しい。7 年後に間に合うかと言われると、物理的に環状線を整備するとなると、まず阿久比川を越える、名鉄を越えることについて、河川管理者や名鉄との協議が必要。川を越える工事は相当大きな規模になり、概ね 3 年くらい。名鉄を越えるのに 3 年。用地交渉ではかなり大変です。工事だけでも何十億、下手すると 100 億近い事業になりますので、その工事に関する費用がかかる。あとは、予算で、5 市 5 町の知多地区で要望している予算は、20、30 億という予算はついていませんので、予算を獲得するだけでも時間がかかります。新聞にも出ていましたが、アクセス道路としては、7 年間では間に合わないという状況ですが、その状況でもできることがあるかや、その他の手段で何ができるかをこの委員会で皆さまと一緒に考えていきたいと思っております。私としては、このような難しい問題があり、環状線も 20 年くらい全く進んでいない状況の中で、どのように進めるのか。主体は愛知県、地元は阿久比町ということで、市長も答弁していますが、半田市が入って、阿久比町も武豊町も入ってもらう。その中で知恵を絞ってみんな考えていかなければならないとその場を設けて、さらには経済界や議員の皆さまの協力も得ながら、県などに要望していく活動もしたい。環状線か名鉄高架をするかは、どちらかにするのは難しい話だが、環状線は乙川中部ももうすぐ終わるとなると、阿久比のところだけになります。本来の環状線とは、中心部の通過交通を排除して外側を行き来できることで交通の円滑化を図るわけですが、本来の目的を達成するには、この区間はやらなければならないのです。それに加えて、今回運動公園に新病院ができるということで、半田市の北部地区の方は、環状線があれば、命を守る道路になりますので、半田市としては要望していかなければならない。かといって、国道 247 号線が必要ないと言われると、病院は何十年とそこにあ

り続けるだろうと思いますので、長期的視点で考えたときに、半田市民にとって、どこが病院へのアクセス道路として適切か考えると、国道 247 号線から直接、まっすぐに半田病院に行けるルートなので、現状そこが渋滞で困っているので、高架にすることは、半田市民にとっては将来的にとっても有効な方法と私は考えます。JR 高架は平成 39 年度までに終わろうとしています。引き続き、平成 40 年度から名鉄の鉄道高架にかかれるくらいの感覚できちんと準備を進めていく必要があると思います。そのため、環状線はきちんと要望し、更には将来の半田市民のことを考えると、国道 247 号線の鉄道高架化も視野に入れて考えていく必要があると思います。

○新美保博委員

考えはわかりました。これからどうすればいいのか。資料にあるような①から⑤くらいは、何年か経てば自ずとできてくると思う。環状線と国道 247 号線の名鉄高架化をどうするか。今日明日で話してできる問題ではないので、具体的に県や国への要望や、県会議員や国会議員へアプローチしていく必要があると思う。そのために、半田市は理論武装を考え、この委員会でそれを構築するのか、環状線で突っ込むのか、みんなで話さなければならないと思う。

○中川健一委員長

今、新美委員からご提案がありましたが、まずは先ほどの当局からの説明について不明な点がある場合は聞いていただき、無くなったら、今のご提案について議論を進めていきたいと思っています。その他にありませんか。一つ私からいいでしょうか。環状線が難しいということで、具体的に少なくとも何年くらいかかるかの見通しは大まかに分かれば教えてください。

○榊原康仁建設部長

愛知県が事業主体なので、そのあたりは答えにくいところではありますが、一般論で考えると、川を越える橋に約 3 年、名鉄を越えることが 3 年、用地交渉が順調にいけば早いかもしれませんが、概ね 3 年、更に、道路は矢勝川を越えていきますし、私の考えですが、なおかつ事業費は何十億から 100 億近い事業になるとすると、知多地区道路の整備は年間五市五町で 10 億を切る予算になっている中で、考えると物理的に 15 年以上はかかるだろうと思っています。

○中川健一委員長

わかりやすい説明をありがとうございました。

○新美保博委員

それは、忖度しなければならぬのか。無理なら全部無理。やる気の問題だろう。お金が付く、付かないはあるだろうが。例えば、広島・岡山の集中豪雨災害の復旧のような時だとなかなか難しい状況ではあると思う。やろうと思えば、時間短縮はできると思う。簡単にはできないだろうが。

○榊原康仁建設部長

そのとおりです。本当にやる気があって、病院開院までにやらなければならないとなれば、2つの橋を同時に作り始めることや県が予算もつけてくれれば、なかなか難しいかもしれませんが、相当早くはできるかもしれませんが、今の一般論とすると私の見解になります。

○中川健一委員長

その他にご質疑ありませんか。

○榊原伸行副委員長

環状線について、この前の6月議会において、半田市、武豊町、阿久比町との組長、議会、商工会議所で陳情に行くという答弁をしています。その後の進捗状況を教えてください。

○榊原康仁建設部長

その後、知多建設事務所や阿久比などとも調整していますが、先ほど申し上げたように難しいことや、協議会自体をどうするか、メンバーは、要望事項はどうするかといったことについて、主体は県事業なので、しっかり県と調整しなければならず、調整しているところです。今、なかなか難しく苦慮しており、申し訳ございませんが可能な限り早く組織を作れるようにしたいと思います。その調整ができましたら、皆さまに報告させていただきますのでよろしくお願いいたします。

○中川健一委員

その他にありますか。

○鈴木幸彦委員

今日の資料の表で、阿久比町の見解として、議会の中の答弁で、綺麗ごとのようなことが書いてあるのですが、肝心の整備が止まってしまっている部分は阿久比地の話であり、今現実、この答弁ではなく、阿久比町はどこまで本気になっているかは。半田市だけが一生懸命頑張っているかもしれないし、県に要望するにしても、阿久比町がどこまでその気になるかも大事な部分だと思います。もちろん、県となれば知事という話になると思いますが、今回、新病院の建設地がこのようになったのも知事の助言でこうなったのだから、温度差を一緒にしなければならない現実で、部長が押さえているところの阿久比町の温度はどれくらいですか。

○榊原康仁建設部長

お答えしにくいところではございますが、首尾一貫して、阿久比町は県道阿久比半田線との平面交差を望んでいます。さらに、鉄道高架をしろとは言っていない。これを繰り返すだけです。これ以上は申し訳ないですがこちらとしてはなぜそこに拘っているのか、普通に考えたら物理的に不可能なことなのですが、それだけしか言ってもらえないのでわかりません。環状線を整備しなくてもいいとは思っていないで、環状線を整備したいという気持ちはあると思います。

○中川健一委員長

しばらく休憩します。

午後 4時17分 休 憩

午後 4時35分 再 開

○中川健一委員長

委員会を再開します。

○榊原康仁建設部長

そもそもの環状線の必要性については、きちんと示したうえで、プラス命を守る病院のアクセス道路としても必要だという言い方をすれば、おそらく納得していただけるので、そういった形で要望していきたいと思います。病院のアクセス道路のことで必要なのではなく、そもそもの環状線の必要性をしっかりと示したいです。

○成田吉毅委員

資料にある愛知県の見解の部分で、中心部の渋滞を緩和するなど交通の円滑化が目的で、病院へのアクセス道路と必要性は薄いと考えているとありますが、中心部の渋滞があるから病院に行けない状態になっている。環状線を作ることで、中心部の渋滞が緩和されれば、名鉄の踏切はしょうがないとしても、それ以外のところが緩和されれば、緊急車両が行きやすくなるわけですからそれも目的の一つだと思うのですが。アクセス道路としての必要性は薄いという表現はどうか。もっと言えば、命が落とされて県は責任が取れるのか。知事が運動公園の場所にしよう助言した病院が開院して、緊急車両が名鉄の踏切と渋滞で命を落としたとなれば、県は責任が取れるのかといったことも県に言っていくべきだと思いますがいかがでしょうか。

○榊原康仁建設部長

そのとおりです。こちらは切実なので真剣に考えていますが、おそらく愛知県はとりあえず病院ができたからと言って交通量が増えるわけではないし、病院のアクセス道路としては作れないよねという感覚だと思います。そこまでの議論ができていないので、愛知県を悪者にはしたくありませんが、市として当然、要求していく事柄だと思います。

○山本半治委員

今、成田委員が仰っていましたが、現実に岩滑の交差点は大渋滞です。三河からの車も増えていて、3月の代表質問の時でも、竜の子街道で半田市が人を多く呼ぼうとしても現状では無理だからそのためにも環状線を作り、渋滞緩和は大事だと話をしました。ですから、そういったことの調査もして、県に要望していけばかなりプラスになると思いますのでよろしくをお願いします。

○榊原康仁建設部長

山本委員の仰るとおりで、いろんな視点で重要だと言っていけるとと思いますので、要望の際にはその視点を整理したいと思います。

○岩田玲子委員

重要なのは環状線の整備もだと思いますが、この委員会は交通アクセスの調査なので新病院までの行き方、スマートインターチェンジの導入や細かい道を整備することなど、乙川亀崎のアクセスを考えなければなりません。環状線のような大きな道路も大事ですが、お金と時間がかかるので、細かい道路をしっかりと整備することで、早く補える手段もあるはずです。それもこの委員会で考えていく必要があるのではないかと思います。

○榊原康仁建設部長

救急車がいかに早く行けるかという視点と、車に乗れない高齢者や患者さんがどういった交通手段で行けるかも重要なので、その視点は救急隊の人にどこを通るのか、どの道路が必要かを聞き取りして、少し整備すれば使いやすくなるなどの情報を得て、考えていきたいです。

○村瀬浩之土木課長

現状、交通渋滞が発生している場所、資料にあげさせていただいたいくつかの場所は、病院がなくてもやらなければならない場所なので、十分把握しているので、もちろん整備していきます。それ以外に、新病院ができることで、必要があるとすればその検討をどうするかは考えなければならないと思います。

○新美保博委員

どちらの課も答えられないと思うので、また消防に確認してください。踏切のバーは、必要があれば押してでも突き抜けて行くようにしているのか。反対車線は空いているのだから、踏切を突き抜けて反対車線で突き抜けることが認められているのだろうか。もちろんそれだけの考えではダメだけど。エンストした場合だろうけど、緊急車両についても認められるのだろうか。たぶんダメだろうけど。今の時代、策を講じないことがいけないことになってしまっているから、踏切で止められることも含めて考えてもらわなければならない。費用や時間を見て、ベストな方法を見つけなければならない。

○小栗佳仁委員

確認ですが、資料のその他の視点のところの①から③は市の事業として考えているが、これは確実に病院開院までには市としてやり遂げるという理解でよろしかったでしょうか。

○榊原康仁建設部長

これは、市でやることですので、必ずやるという意気込みでやります。これは地権者がいるので、地権者の反対が万が一ありますので、その点も説得してやれるように頑張ります。

○中川健一委員長

先ほどの岩田委員の質問で、救急隊として、乙川亀崎からのルートはこれがいい等の考えを聞く調査はどうするのですか。

○榊原康仁建設部長

確認し、報告します。

○新美保博委員

先々は、おぼろげながら見えてきたが、当面の開院7年までには何をすることが大事です。

○中川健一委員長

その他はありませんか。

【「なし」との声あり】

ないようですので、今後の具体的な進め方について、皆さんにご意見を伺いたいと思います。しばらく休憩します。

午後 4時50分 休 憩

午後 4時58分 再 開

○中川健一委員長

委員会を再開します。ただ今、ご意見をいただきましたが、第二回8月22日に、当局からご提案がありました道路について現場の視察をし、会議室に戻ってきて、阿久比町長へのいろんな要望事項についてみなさんで論点整理をし、どんな話を町長に申し上げるか相談したいと思います。それと同時に、地元選出の県議会議員の先生方に、愛知県知事との話し合いをしたいが、どのように進めればいいのかのご相談をしていきたいと思います。それを踏まえて、2回目では、話が終わらない可能性もありますので、第三回は9月20日13:30から17:00まで予定を空けておいてください。内容は、第二回を踏まえて考えていきます。なお、阿久比町長へお邪魔する件については、二回目の議論が終わった後に日程調整を具体的にしていきたいと思います。当面は、このような形で進めたいと思います。また、視察については、適宜必要があれば行きますし、必要がなければ無しで進めていきたいと思います。このような感じでよろしいでしょうか。

【「はい」との声あり】

ありがとうございました。それでは、このような方向性で進めたいと思いますので、よろしく願いいたします。この件で、何かございますか。

【「なし」との声あり】

それでは、次にその他を議題とします。何かありましたらお願いします。

【「なし」との声あり】

ないようですので、以上で新半田病院への交通アクセス調査特別委員会を閉会いたします。

午後 5時01分 閉 会